

# みなくち子どもの森での森林環境学習「やまのこ」

「やまのこ」には県内すべての小学4年生が参加します。

「次代を担う子どもたちが、森林への理解と関心を深めるとともに、人と豊かにかかわる力をはぐくむため学校教育の一環として、森林環境学習施設およびその周辺森林で体験型の学習を実施するものとする」というのが県の事業方針です。

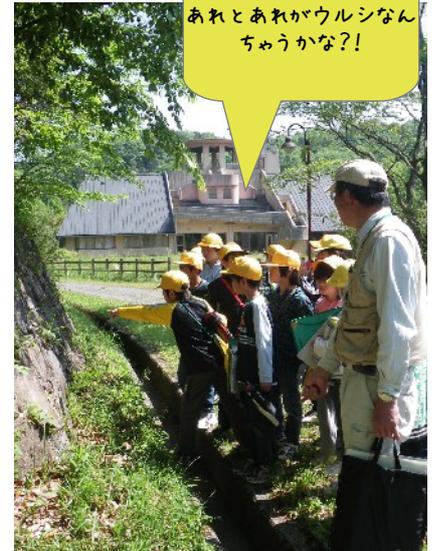
では実際、

みなくち子どもの森ではどんな「やまのこ」を実施しているのか、その様子を紹介します。

## 森で安全に活動するには



みなくち子どもの森は甲賀地域の里山の自然を紹介することを目的に設立されました。有用な物と危険な物が共存する自然に対し、人はどう向き合ったらいいのか、「やまのこ」はこれを知る絶好の機会となります。よく話題にのぼるウルシ、マムシ、スズメバチに対しても、「こうすれば大丈夫」ということを知ってもらい、森で安全に活動する学習スタイルを体験してもらいます。



## 森に親しみ楽しむ



敷地内のゆったり歩ける園路、探検気分を味わえる尾根道、ヒノキやスギの生えそろった人工林、笹やたくさんの種類の木が生い茂る雑木林や竹林、奥深い森の中から水がしみ出る水源など、みなくち子どもの森では多様な森の姿を見学できます。

4年生の子どもたちから、「へえ〜」、「不思議〜」、「おもしろ〜い」の声が聞こえるようなクイズを配置し、森を考え、森を感じ、森を楽しんでもらえるように準備しています。

子ども達だけで 地図を  
たよりに 森の中を歩く  
プログラムもあるよ



## 森づくり体験



間伐体験をプログラムに入れる学校もあります。樹齢20~30年のヒノキの間伐を見学し、枝切りや皮むきなどを体験します。また、コナラ苗の植林、薪割り、椎茸ほだ木の菌打ちなど山の仕事の実体験もあります。林業は、植える→育てる→伐る→使うという流れを繰り返し、森林を育てながら「木材」資源を継続して受け取る仕事であることを伝えていきます。



## 森の恵み利用



ノコギリを使う体験もあります。子どもの森でとれるアカマツ、ヒノキ、ネジキを利用し、工作用の木片を切ります。材の違いから来る手ごたえや香りの違い、切り口から判明する樹齢などに注目しながら、二人が助け合って作業を進めます。ノコギリ体験が終わると、切り取った木片と森で拾った小枝や木の実を材料に、樹木標本を作ります。森の恵みをもとに、子どもたちの自由な発想が光る作品が出来上がります。



## 森の役割を知る

お話・実験など

生き物の生活の場  
たくさんの恵み  
環境保全  
土砂災害を防ぐ  
緑のダム(保水力)

スポンジのような森の土を踏み、その土がどのような土なのかを観察したり、枯れ木に生えるキノコを見つけ、何をしているところなのかを考えたり、きれいな水が浸み出す源流にたどりついて、そっとふれてみたり・・・。体験とその後の実験を通して、森の様々なはたらき気づいてもらいます。



## 甲賀の自然を知る



「みなくち子どもの森自然館」では甲賀地域でみつける化石や動物や植物を展示しています。甲賀の自然を紹介する四季のジオラマ、地球全体の歴史を一望できる化石コーナー、折々の話題を織り込んだ特別展示コーナー、プラネタリウムなどがあり、2階では鳥、虫、小動物について詳しく調べることができます。

